

2011年3月期 第3四半期(累計期間) 決算説明資料

1 連結業績について

1) 連結業績概要	…P. 3
2) 売上高の変動要因	…P. 4
3) 営業利益の変動要因	…P. 5
4) セグメント別売上高・営業利益	…P. 6
5) 地域別売上高	…P. 11
6) 設備投資他	…P. 12
7) 損益計算書	…P. 13

2 2011年3月期 業績予想

1) 2011年3月期 業績予想	…P. 14
2) セグメント別売上高・営業利益	…P. 15
3) 四半期毎のセグメント別売上高	…P. 16
4) 四半期毎の営業利益	…P. 17

3 その他の情報

1) 配当予想の修正について	…P. 18
2) 海外市場向け新製品	…P. 19
3) インド現地法人設立	…P. 20
4) 代表取締役の異動	…P. 21

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

連結業績概要 前年同期比

売上高

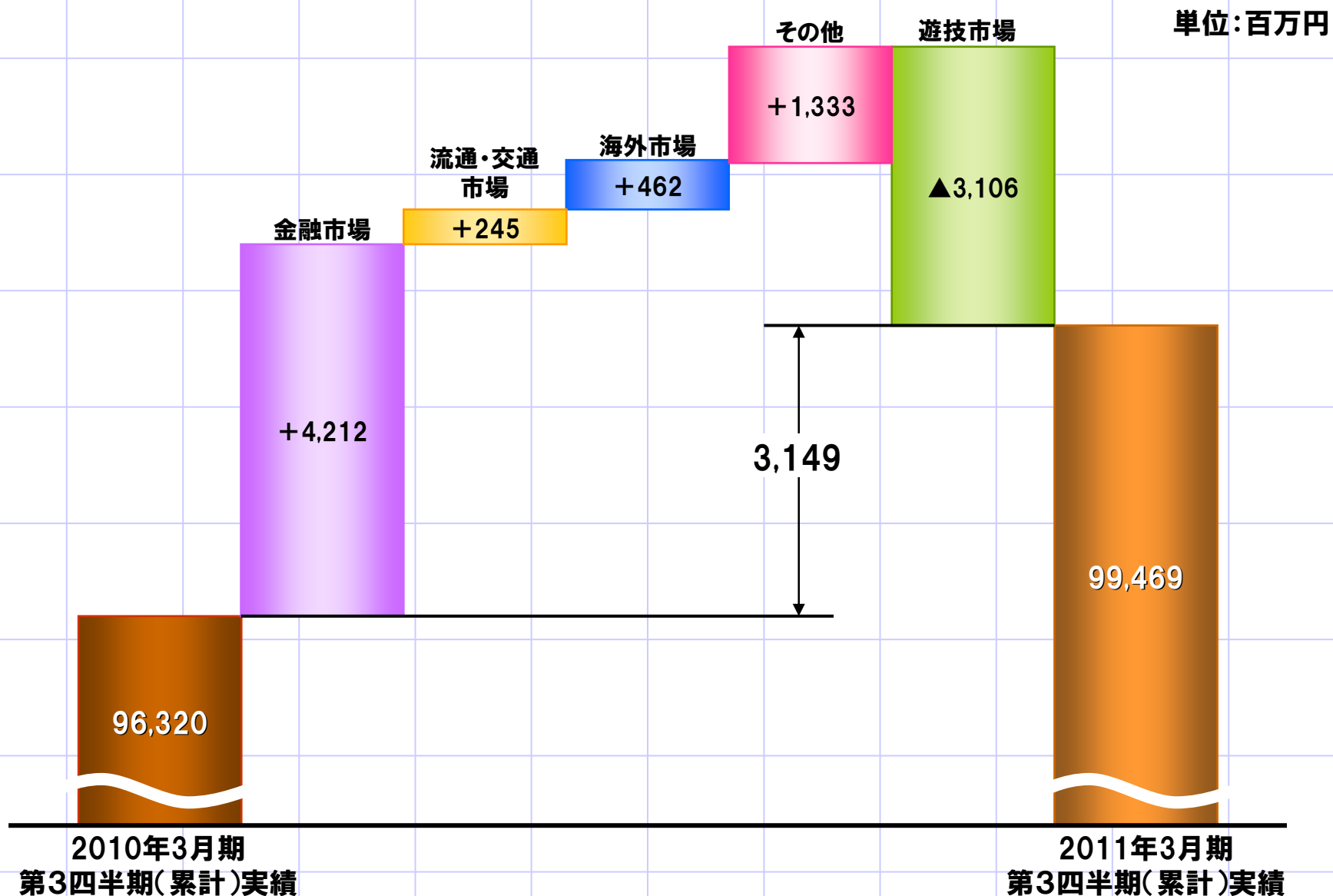
金融市場での新製品投入効果や中国をはじめとするアジア地域での販売が堅調に推移し、前年同期に比べ増加。

利益

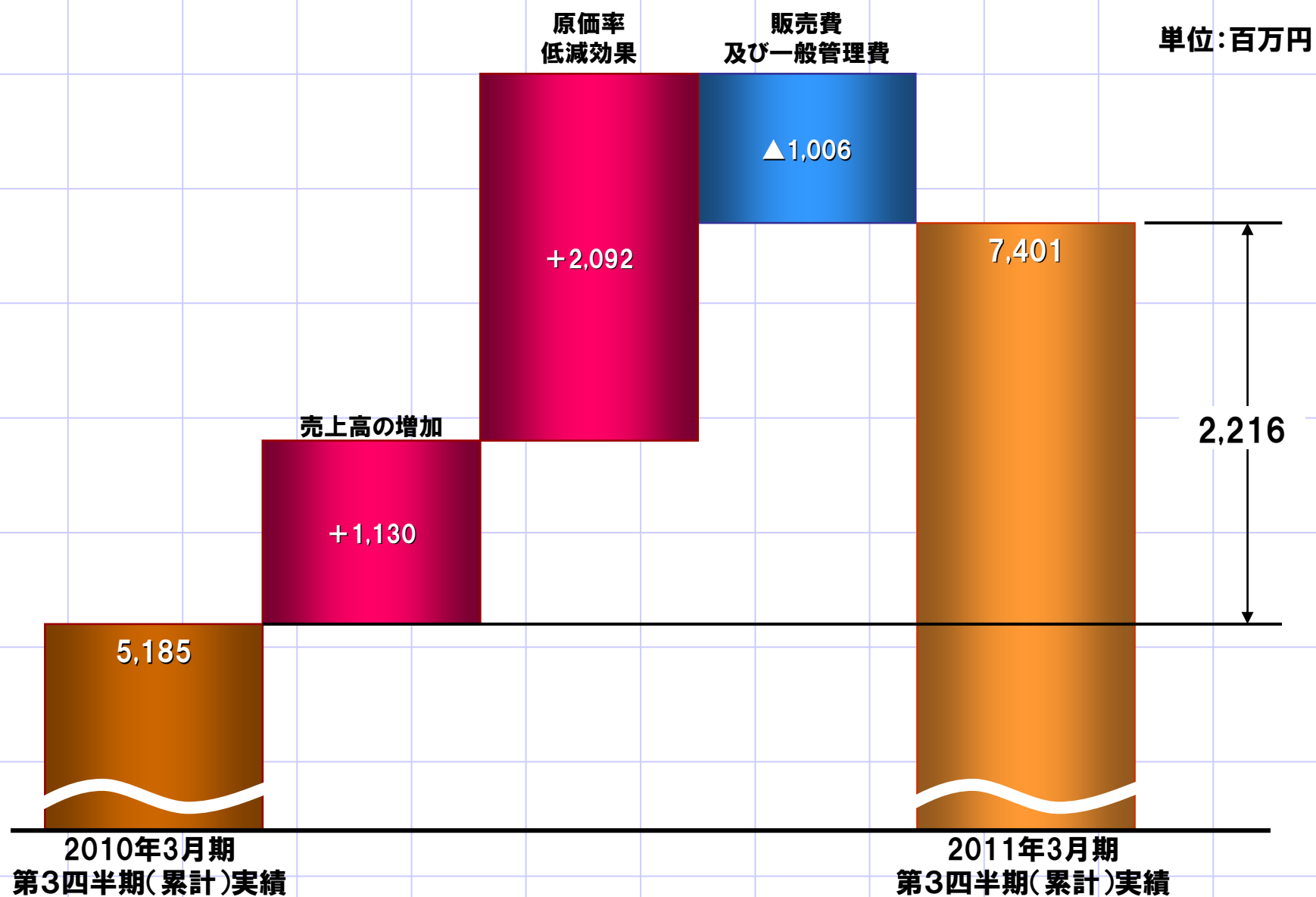
体質強化戦略の一貫として、製造原価の低減を推移したことにより、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前年同期に比べ増加。

(百万円)	2010年3月期 第3四半期 累計期間	2011年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	96,320	99,469	+3.3%
うち 保守売上高	23,566 (24.4%)	23,832 (24.0%)	+1.1%
営業利益	5,185 (5.4%)	7,401 (7.4%)	+42.7%
経常利益	6,359 (6.6%)	7,784 (7.8%)	+22.4%
四半期純利益	3,626 (3.8%)	4,427 (4.5%)	+22.1%

売上高の変動要因



営業利益の変動要因



セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

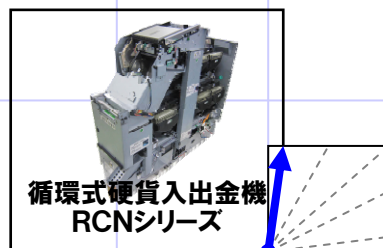
2011年3月期 第3四半期 累計期間					
セグメント	売上高	前年実績	計画値	営業利益	計画値
		前年同期比	計画比		計画比
 金融市場	32,476	28,264	33,979	3,605	2,918
		+14.9%	▲ 4.4%		+23.5%
 流通・交通市場	19,195	18,950	20,472	1,605	1,780
		+ 1.3%	▲ 6.2%		▲ 9.8%
 遊技市場	19,438	22,544	20,166	1,187	1,028
		▲13.8%	▲ 3.6%		+15.5%
 海外市場	19,607	19,145	21,386	1,013	1,437
		+ 2.4%	▲ 8.3%		▲29.5%
 その他	8,750	7,417	8,455	▲11	244
		+18.0%	+ 3.5%		▲104.5%
自動販売機市場	4,811	4,540	4,331	▲341	▲130
		+ 6.0%	+11.1%		▲162.3%
合 計	99,469	96,320	104,458	7,401	7,408
		+ 3.3%	▲ 4.8%		▲ 0.1%

※計画比は2010年11月5日時点のもの

●オープン出納システムの販売が堅調

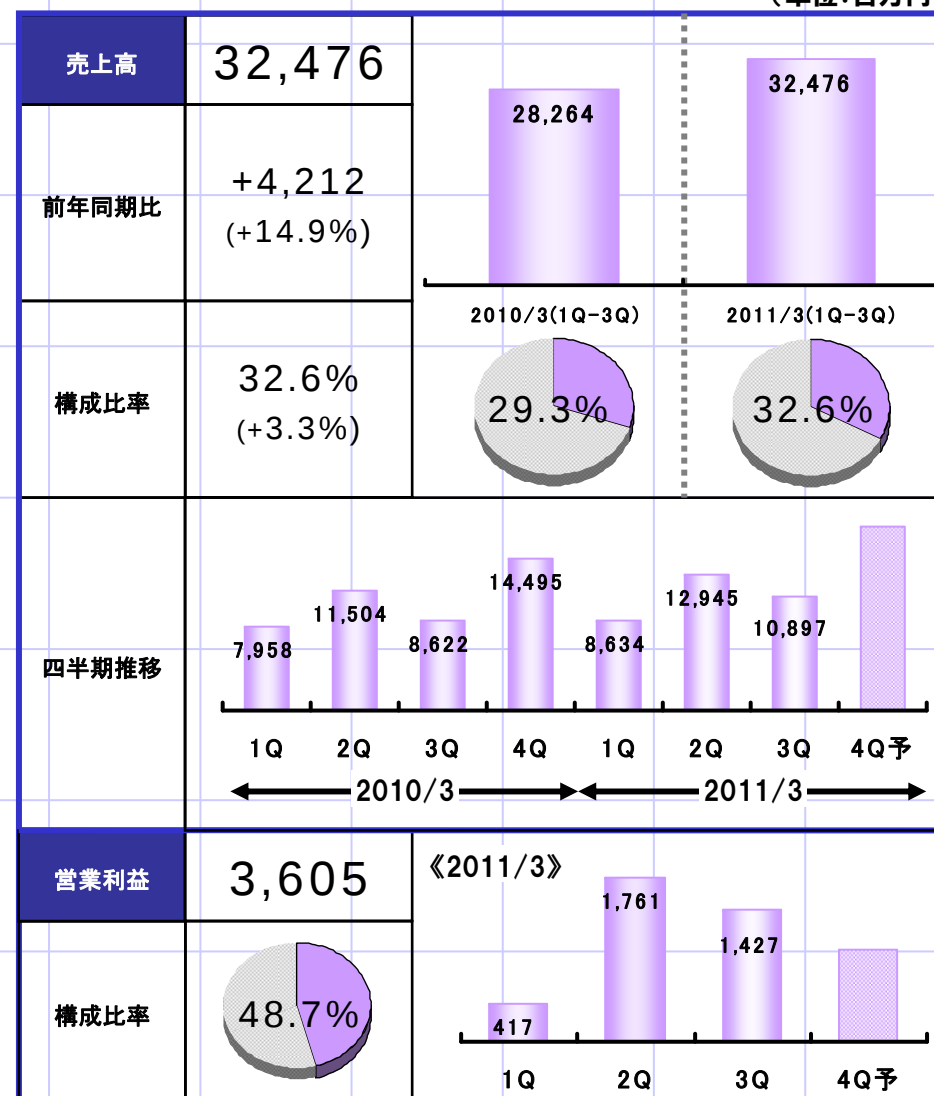
オープン出納システムは、中小規模店舗向けのコンパクトタイプを投入したことにより、好調に推移。窓口用入出金システムやATM用硬貨入出金ユニットの販売も、更新需要により好調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



●レジつり銭機の販売が堅調

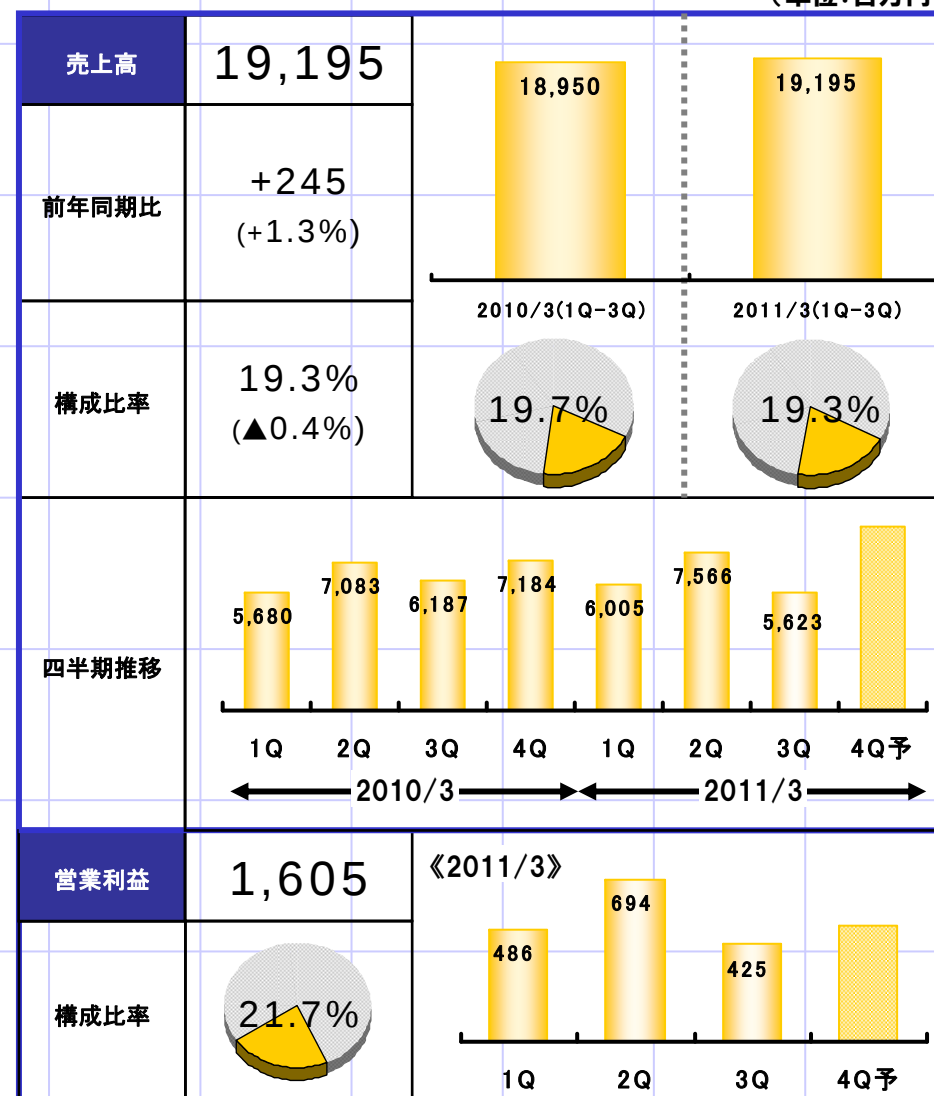
レジつり銭機や警備輸送会社向け店舗入金機が堅調であったものの、ガソリンスタンド向け小型現金管理機や店舗入出金機が低調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



●カードシステムの販売が低調

カードシステム等に対する設備投資の抑制傾向に加え、市場競争激化の影響もあり、当市場における販売は低調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)

カードシステム



管理ターミナル



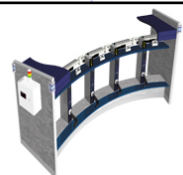
カードユニット



カード精算機



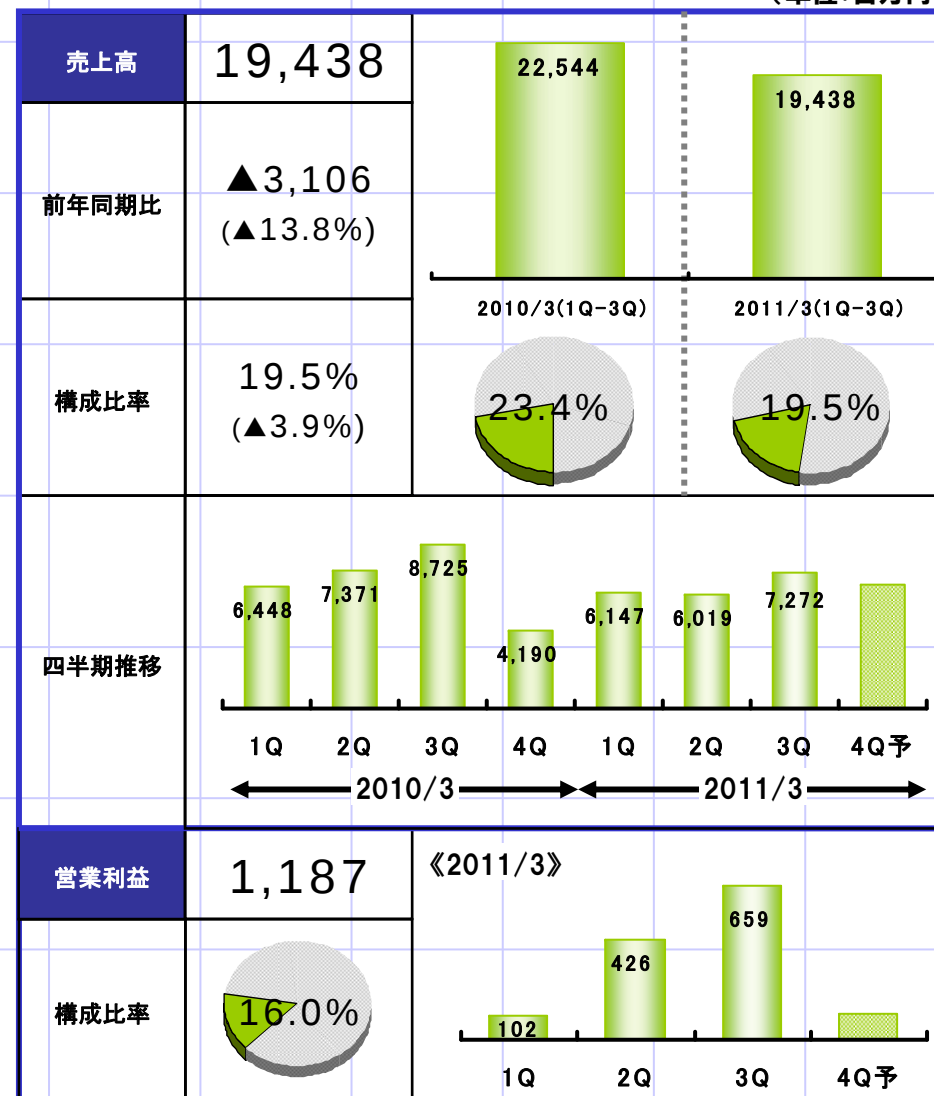
コンソール



紙幣搬送システム

※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

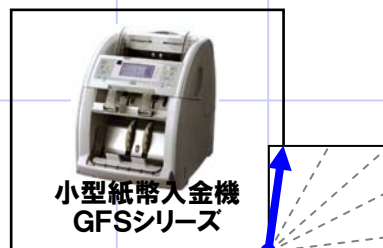
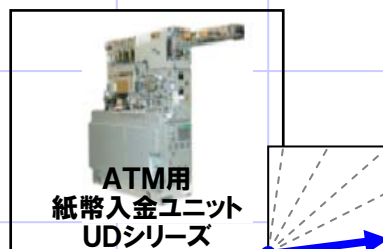
(単位:百万円)



●紙幣整理機や新製品の販売が好調

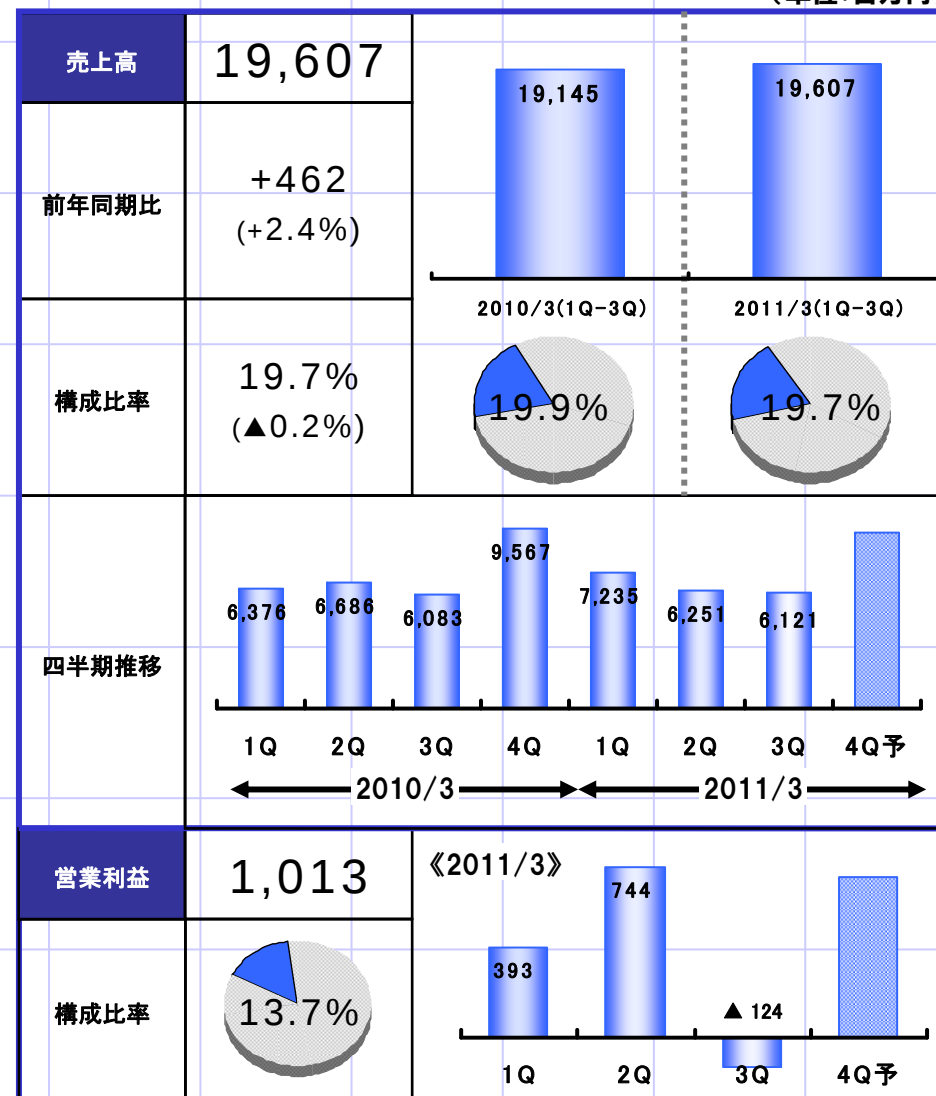
紙幣整理機や新製品である小型紙幣入金機は好調であったものの、欧米において窓口用紙幣入出金機の販売が低調であったことに加え、第3四半期以降ATM用紙幣入金ユニットの販売が低調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

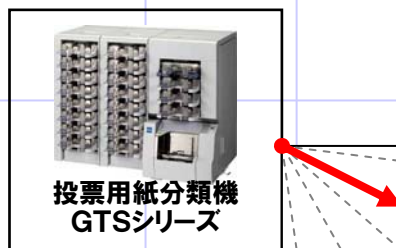
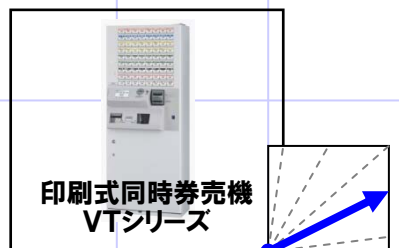
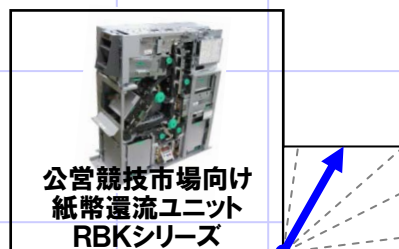
(単位:百万円)



●主要製品の販売が好調

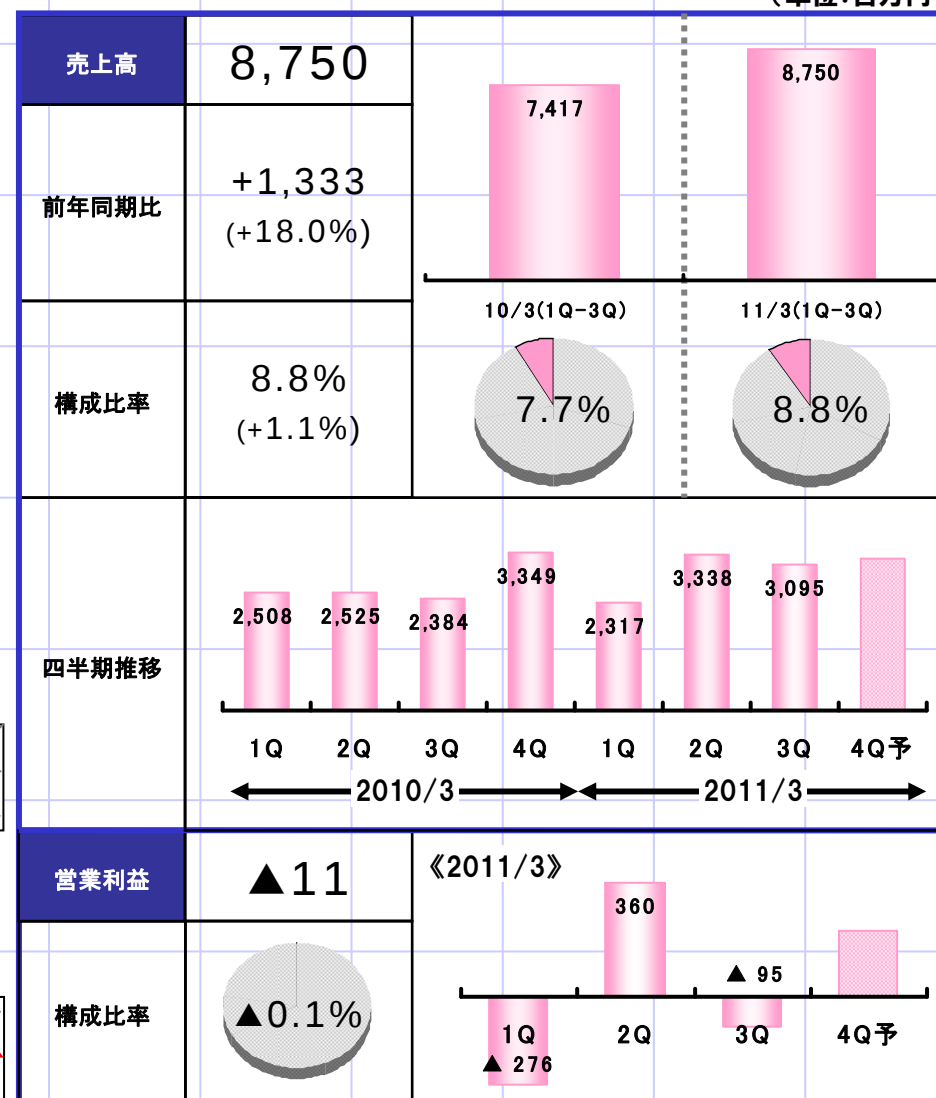
たばこ販売機や公営競技市場向け紙幣還流ユニットの販売が堅調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



地域別売上高

(単位:百万円)

現地通貨ベース比較

海外 地域別売上高	2010年3月期 第3四半期 累計期間	2011年3月期 第3四半期 累計期間	差異
米 州	5,951	3,906	▲2,045
直 販	3,556	3,264	▲292
OEM	2,395	642	▲1,753
欧 州	10,422	10,898	+476
直 販	6,299	5,556	▲743
OEM	4,123	5,342	+1,219
アジア	2,772	4,803	+2,031
直 販	1,923	4,016	+2,093
内 中 国	850	1,942	+1,092
OEM	849	787	▲62
合 計	19,145	19,607	+462
直 販	11,778	12,836	+1,058
OEM	7,367	6,771	▲596

2010年3月期 第3四半期 累計期間	2011年3月期 第3四半期 累計期間	前年 同期比
38,464千ドル (92.45円/ドル)	40,029千ドル (81.54円/ドル)	+4.1%
円ベース		▲8.2%
47,996千ユーロ (131.32円/ユーロ)	48,848千ユーロ (113.74円/ユーロ)	+1.7%
円ベース		▲11.7%
20,800千ドル (92.45円/ドル)	49,251千ドル (81.54円/ドル)	+136.7%
円ベース		+108.1%
「直販」を現地通貨ベースで 換算した場合の比較 ・米州・アジア=12月末時点のレート ・欧州=9月末時点のレート		

設備投資他

(単位:百万円)

	2010年3月期 第3四半期(累計)	2011年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比	過去5年間の推移
設備投資額	4,269	4,683	+414 +9.7%	FY06 (1-3Q) 4,382 FY07 (1-3Q) 3,586 FY08 (1-3Q) 5,996 FY09 (1-3Q) 4,269 FY10 (1-3Q) 4,683
減価償却費	5,939	4,908	▲1,031 ▲17.4%	FY06 (1-3Q) 4,636 FY07 (1-3Q) 4,839 FY08 (1-3Q) 5,282 FY09 (1-3Q) 5,939 FY10 (1-3Q) 4,908
研究開発投資額	6,316	6,306	▲10 ▲0.2%	FY06 (1-3Q) 6,582 FY07 (1-3Q) 7,099 FY08 (1-3Q) 6,775 FY09 (1-3Q) 6,316 FY10 (1-3Q) 6,306

損益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2010年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	2011年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	増 減
売上高	96,320	100.0	99,469	100.0	+3,149
売上原価	61,751	64.1	61,677	62.0	▲74
販管費	29,383	30.5	30,389	30.6	+1,006
営業利益	5,185	5.4	7,401	7.4	+2,216
営業外収益	1,424	1.5	1,051	1.1	▲373
営業外費用	250	0.3	668	0.7	+418
経常利益	6,359	6.6	7,784	7.8	+1,425
特別利益	452	0.4	301	0.3	▲151
特別損失	712	0.7	1,091	1.1	+379
税金等調整前 四半期純利益	6,098	6.3	6,994	7.0	+896
法人税等調整額	2,472	2.5	2,567	2.6	+95
四半期純利益	3,626	3.8	4,427	4.5	+801

①売上原価率：コスト削減活動の成果等により2.1ポイント低減。

②営業外損益：為替差損(480百万円)などが発生。(前年同期は営業外収益に保険返戻金(487百万円)を計上)

③特別損失：減損損失(358百万円)、退職給付費用(257百万円)、投資有価証券評価損(233百万円)

2011年3月期 業績予想

売上高 新製品による市場の深掘りが進み、前年同期から増加。

利益 売上高拡大とコストダウン策の推進効果により、前年同期に比べ増加。

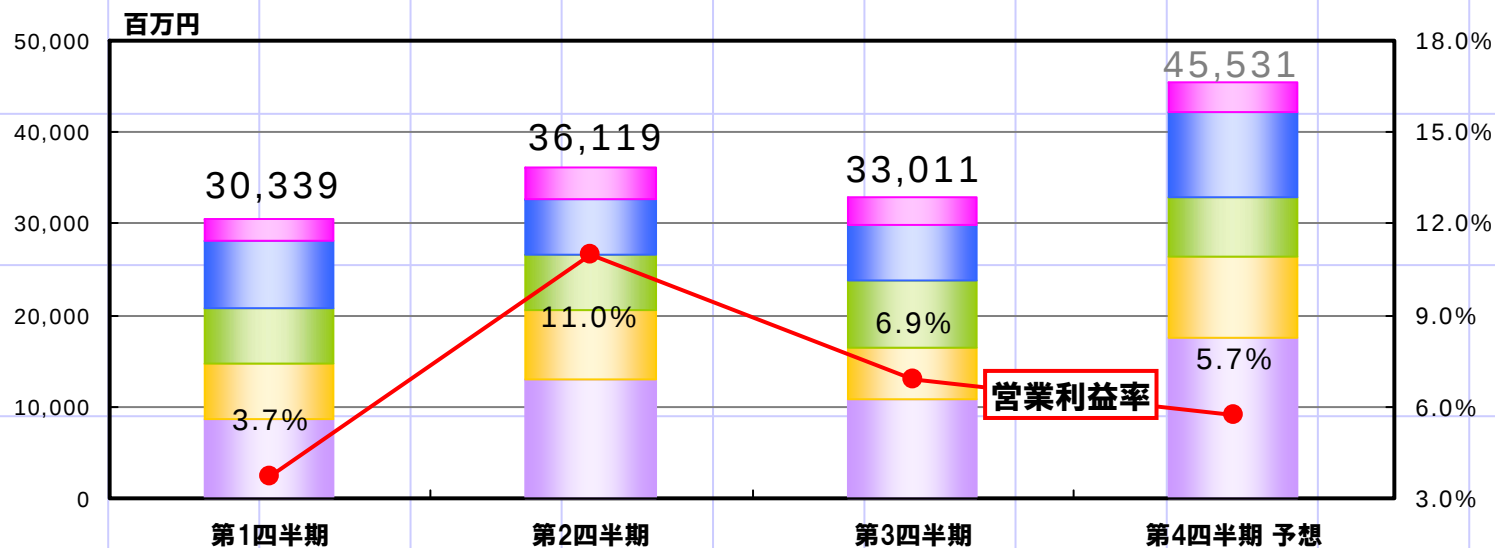
(百万円)	2010年3月期 (平成22年3月期)	2011年3月期 (平成23年3月期)	前年同期比
売上高	135,105	145,000	+7.3%
うち 保守売上高	31,682 (23.4%)	32,000 (22.1%)	+1.0%
営業利益	7,685 (5.7%)	10,000 (6.9%)	+30.1%
経常利益	9,011 (6.7%)	10,000 (6.9%)	+11.0%
当期純利益	5,108 (3.8%)	6,000 (4.1%)	+17.5%

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	2010年3月期 (平成22年3月期)		2011年3月期 予想 (平成23年3月期 予想)		
	売上高	構成比	売上高	前年 同期比	営業利益
金融市場	42,759	31.6%	49,000 ➡ 50,000	+16.9%	4,600
流通・交通市場	26,134	19.3%	28,000 ➡ 28,000	+7.1%	2,100
遊技市場	26,734	19.8%	26,000 ➡ 26,000	▲2.7%	1,300
海外市場	28,712	21.3%	30,000 ➡ 29,000	+1.0%	1,800
その他	10,766	8.0%	12,000 ➡ 12,000	+11.5%	200
内 自動販売機	6,381	4.7%	6,500 ➡ 6,500	+1.9%	▲200
合 計	135,105	100.0%	145,000 ➡ 145,000	+7.3%	10,000

※左側の数値は2010年11月5日公表値

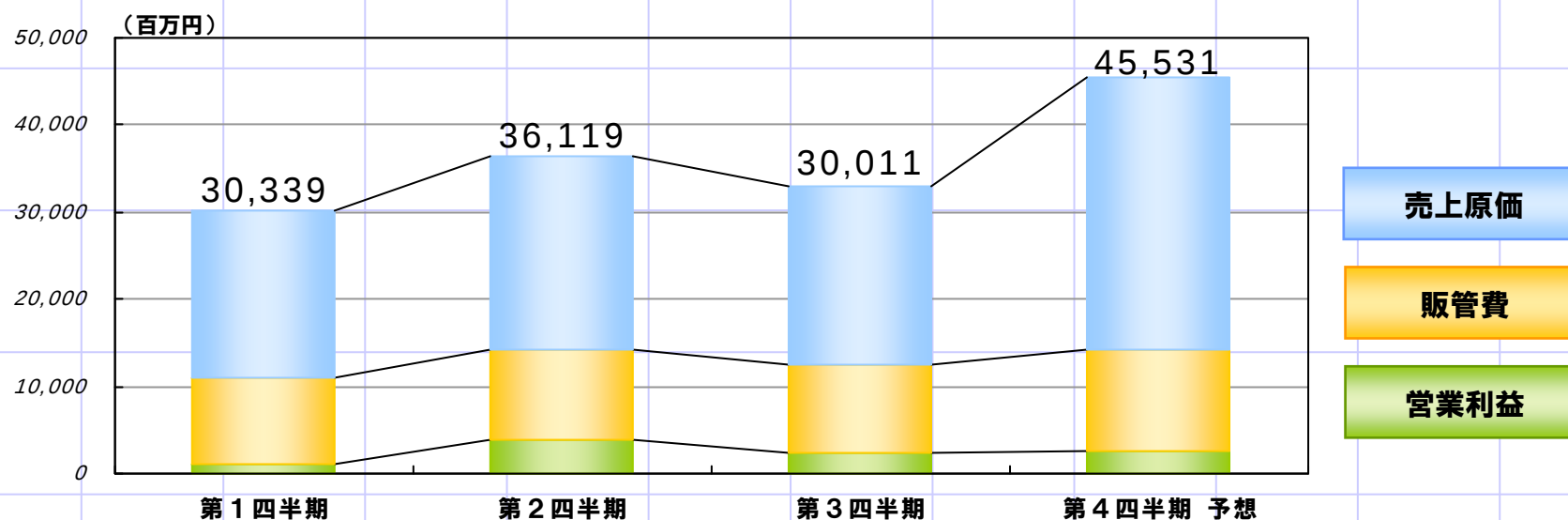
四半期毎のセグメント別売上高



セグメント	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	年間 予想
金融市場	8,634(417)	12,945(1,761)	10,897(1,427)	17,524(995)	50,000(4,600)
流通・交通市場	6,005(486)	7,566(694)	5,623(425)	8,805(495)	28,000(2,100)
遊技市場	6,147(102)	6,019(426)	7,272(659)	6,562(113)	26,000(1,300)
海外市場	7,235(393)	6,251(744)	6,121(▲124)	9,393(787)	29,000(1,800)
その他	2,317(▲276)	3,337(360)	3,095(▲95)	3,250(211)	12,000(200)
自動販売機市場	1,097(▲294)	1,583(35)	2,130(▲82)	1,689(141)	6,500(▲200)
合 計	30,339(1,123)	36,119(3,985)	33,011(2,293)	45,531(2,599)	145,000(10,000)

※右側の () は営業利益

四半期毎の営業利益



2011年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	通期予想
売上高	30,339	36,119	33,011	45,531	145,000
売上原価 (売上高比率)	19,034 (62.7%)	22,136 (61.3%)	20,507 (62.1%)	31,323 (68.8%)	93,000 (64.1%)
販管費 (売上高比率)	9,911 (32.7%)	10,268 (28.4%)	10,210 (30.9%)	11,611 (25.5%)	42,000 (29.0%)
営業利益 (売上高比率)	1,123 (3.7%)	3,985 (11.0%)	2,293 (6.9%)	2,599 (5.7%)	10,000 (6.9%)

配当予想の修正について

●2011年3月期 配当予想修正

利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。具体的には

「**連結自己資本配当率1.5%を下限とし、連結配当性向25%以上を目標とした利益配分を行う**」
こととしております。

1株当たりの配当金	中間期末	期末	年間 予想
前回予想 (2010年5月11日公表)	17円00銭	17円00銭	34円00銭 (配当性向38.1%)
今回修正予想 (2011年2月4日公表)	—	20円00銭	37円00銭 (配当性向40.5%)
当期実績	17円00銭	—	—
前期実績 (2010年3月期)	16円00銭	17円00銭	33円00銭 (配当性向43.4%)

来期以降の利益配分について

より一層株主の皆様への還元を図るべく、**配当の下限を連結自己資本配当率1.8%に引き上げ**、
連結配当性向につきましては引き続き25%以上を目標とした利益配分を実施させていただく予定です。

●製品ラインナップの強化

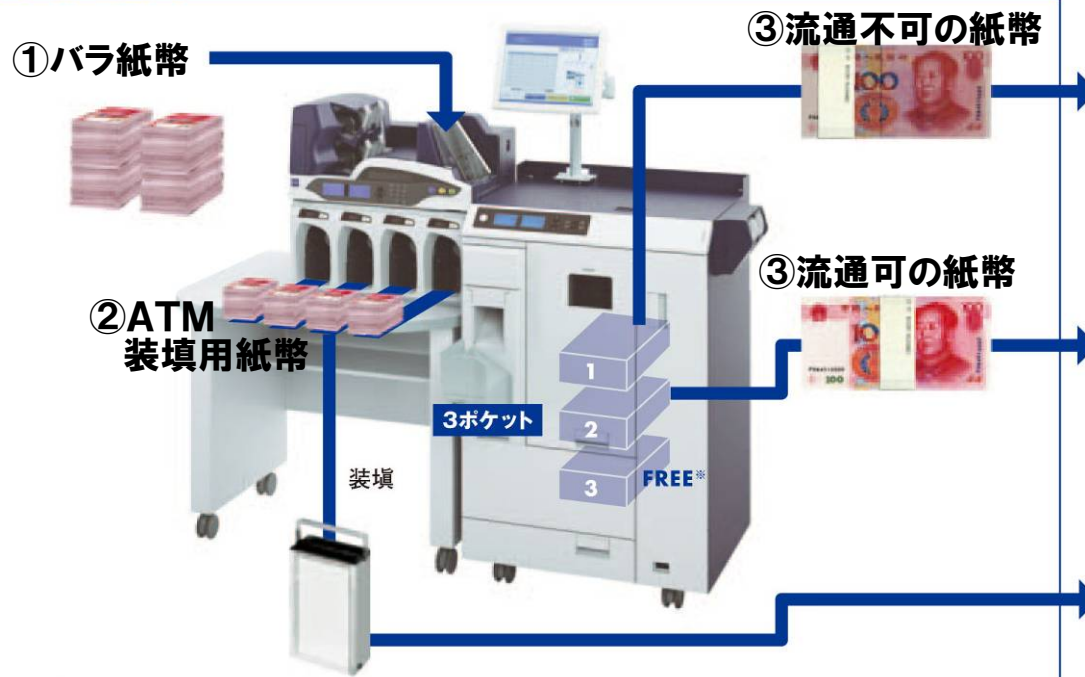
帯封機能付紙幣整理機 UWH-1000

キャッシュセンター等で大量の紙幣識別・計数・整理・帯封を1台で処理。

●発売時期:2010年12月中国仕様、2011年2月欧州仕様

【中国での使用例】

キャッシュセンター



人民銀行



支店



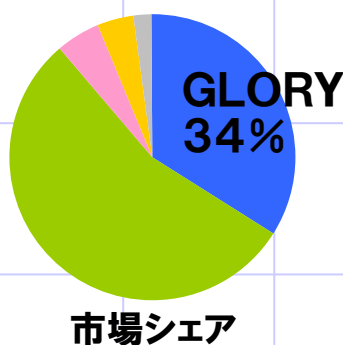
店外 ATM



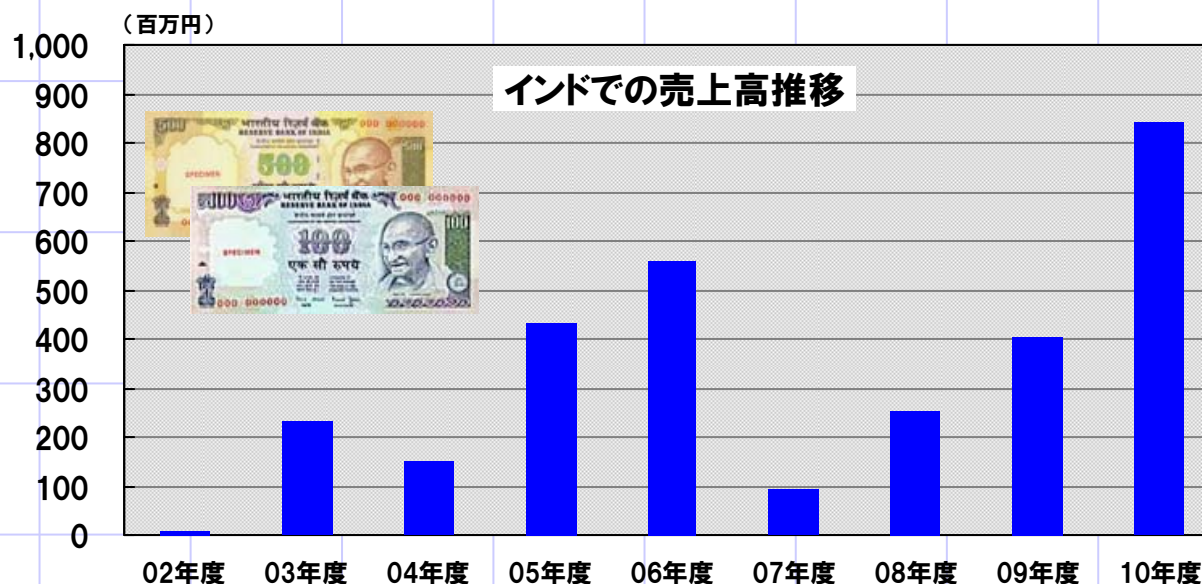
●販売体制の強化

インド法人の設立「GLORY India Pvt. Ltd.」

- 目的：現地法人を設立し、巨大市場を更に深掘りすることで、同市場での販売を飛躍的に伸ばす。（従来は1代理店体制）
- 設立時期：2011年4月予定
- 資本金：1億ルピー
- 本社：ニューデリー
- ポテンシャル：銀行数245 銀行店舗数 約84,000
- 売上高目標：2015年度 30億円



グローリー調べ



代表取締役の異動(2011年4月1日付)



代表取締役会長
西野 秀人

(現役職)代表取締役社長



代表取締役社長
尾上 広和

(現役職)取締役 執行役員副社長

※現 代表取締役会長の尾上壽男は取締役相談役に就任致します。